

# 東流西流



田上 恵子

私は大学を卒業して、周南市にある小学校の教員となりました。人間と深く関わる仕事がしてみたい、という漠然とした思いから選んだ仕事でした。とはいえ教員採用試験で受験したのは中学校だったのに小学校の専科教員として配属されたので、正直戸惑いと不安のスタートとなりました。その上、着任すると専科

どころか3年生の担任をいきなり任されてしまいました。初めは何をしたらいいのか皆目見当もつきませんでした。私は小学校の教育実習をしたことがなかったのです。教師としてというより社会人としても何とも情けないありさまでしたが、こどもたちはとてもかわちほとでもかわいくて私はすぐになじんで仕事にのめり込んでいきました。こどもたちとの関係をつくりながら授業やクラスをつくっていくという創造行

## 始まり

為に夢中になったので、小学校で働くという事は考えてもみなかった展開でしたが、これが私にとって、こどもの育ちの面白さや難しさに触れる初めての体験となりました。この経験がなかったら私はその後「人間と教育」という深い問いを持つことも、その答えを探し続けることもなかったと思います。この時から既に45年。その問いの答えを必死に探し続け

（宇部市、NPO法人メルヘンこども園理事長）

# 東流西流



田上 恵子

思いがけず小学校の教員になった私ですが、どっぷりはまって夢中で毎日を過ごしました。しかしながら一生懸命すぎて息切れを起し、結婚と同時にたった2年で退職。その後3年のブランクを経て再度教員採用試験に挑みました。ブランクの間に小学校教諭の免許を取りました。やはり私はこの仕事が好きだと

いう思いから離れられなかったのです。しかし人とは不思議なもので今度の配属先はなんと中学校。 中学校での毎日

## 出会い

そんな時にこの問いに光を投げかけてきたのが「シユタイナー教育」でした。きっかけは職員室で私の机の前に座っておられた国語の先生から渡された一冊の本、ミヒャエル・エンデの「モモ」。エ

（宇部市、NPO法人メルヘンこども園理事長）



田上 恵子

子育てを始めたころ、私は何とこどものことを知らないのだろう、と思いました。教員として人間教育に関わっているにもかかわらず、目の前にいる弱々しい何もできない赤ちゃんが一体どんな存在で、どういうことを大事にして世話をしあげたらいいか分かりませんでした。こどもが泣きやまないと一緒に泣いて、体調に変化があると

右往左往しました。寝不足でへ口へ口になりながら教育者の端くれにもなれないと思いつながら1年間の育休を終えました。

そんなダメな親だったので、復職した後はまづは今まで持っていた考えを捨てて中学生を見始め、問題行動を起こす生徒をただ管理するだけではなく人間として中学生がどんな過程にいるのか理解したいと考えるようになっていました。そんな時にシュタイナー氏が提唱した教育観に出合い

### ダメな親

「人間は他の哺乳類とは違いとても未熟な状態で生まれてきて長い時間をかけて人間になる」こどもは大人になる21歳までに大きく三つの成長の段階があり、それぞれにふさわしい働きかけをすることが必要という考え方を学びました。

三つの段階は一般的にも言われている幼児期・児童期・思春期ですが、その本質の捉え方とアプローチが私を引きつけました。今まで聞いたことがない人間観と働きかけだったからです。  
(宇部市、NPO法人メルヘンこども園理事長)



田上 恵子

シュタイナー教育を学び始めたある夏の日でした。お菓子屋さんへ寄ったところお母さんが3歳くらいの子どもに「どれが食べたい？」と尋ねていました。こどもは一つのケーキを指さした後、「いや、これがいい。やっぱりこっち」と次々に変更していました。お母さんはイライラし始め「早く決めなさい！」と怒り始めました。

この騒動を見て、私は成長していきます。幼

どうしてこどもに選ばせるのだらうと思いましたが、話し始めて間もないこどもに何がいいかなんて判断できるとは思えません。こどもは小さな大人で

### 小さな大人？

これは「大人と同じように感じたり考えたりする力が小さなこどもにもある」と大人が勘違いしているからで、大人のように知識の蓄積にこのようなくす。残念なことです。大人と同じように扱うことどもへの大人の対応は随所で見かけます(私も過去に同じことをしています)。

長い時間をかけてゆっく  
(宇部市、NPO法人メルヘンこども園理事長)

## 東流西流



田上 恵子

私は立って歩きますが、それをどのように学んだのか覚えていません。言葉も同様です。気が付いたら立って歩いて話していました。それをどのように身に付けたかを深く考えたことはなく、人間に元々備わった能力なので自然にできることだと思っています。シュタイナー氏は人間のこの直立歩行と言葉

の獲得は「模倣」つまりように丸写しです。そして「まね」を通して身に付けて周りに模倣する対象、た、というのです。それまで私は日本語をまねして覚えたなんて考えたことありませんでした。言われてみればごもつともで、オオカミに育てられた子どもが発見時に四足歩行でしゃべれなかったという実話を考えても「7歳までのごどもは模倣を通して学ぶ」というシュタイナーの人間観はとてな納得のいくものでした。この幼児期の模倣はコピーの

### まね

の獲得は「模倣」つまりように丸写しです。そして「まね」を通して身に付けて周りに模倣する対象、た、というのです。それまで私は日本語をまねして覚えたなんて考えたことありませんでした。言われてみればごもつともで、オオカミに育てられた子どもが発見時に四足歩行でしゃべれなかったという実話を考えても「7歳までのごどもは模倣を通して学ぶ」というシュタイナーの人間観はとてな納得のいくものでした。この幼児期の模倣はコピーの

## 東流西流



田上 恵子

「シュタイナー教育」を提唱したルドルフ・シュタイナーは今から100年前にドイツを中心に活躍した哲学者です。彼は、その思想を実践した医療や教育や農業などの分野の人々に示唆を与えて後押ししました。私は「教育」からその思想に触れました。彼は100年前に生きた人ですが、その考えは現代の課題にびったり当てはまり

ます。この教育を学ぶ中で私は人生の土台となる幼児教育の大切さを痛感しました。わが身を振り返っても人間の在り方について大人が学ばないと子育てや教育はできないと思います。共に学ぶ仲間と一緒に幼稚園形態の小さな幼児教育施設を作ることを決意しました。28年前のことです。まずはまだ夢の中にいるような幼児の在り方に合わせて柔らかい有機的な物的環境を整えていくことが必要だ、と私たち

### 人生の土台

ます。この教育を学ぶ中で私は人生の土台となる幼児教育の大切さを痛感しました。わが身を振り返っても人間の在り方について大人が学ばないと子育てや教育はできないと思います。共に学ぶ仲間と一緒に幼稚園形態の小さな幼児教育施設を作ることを決意しました。28年前のことです。まずはまだ夢の中にいるような幼児の在り方に合わせて柔らかい有機的な物的環境を整えていくことが必要だ、と私たち



田上 恵子

小さな民家で始めた幼児教育施設「メルヘンこども園」は、5年後に新たに園舎を建設して移転しました。建物は「シュタイナー建築」でより幼児にふさわしい環境となりました。建物は変化しましたが、保育の内容は何も変わりませんでした。こどもたちはいつも室内でたっぷり遊んだ後、片付けをして園で作られたおやつをいただきます

### おうちのような園

す。その後季節の遊戯な形を作って実践してきました。その後季節の遊戯などをしてから外遊び(またたは散歩)。それが終わると室内で素話を聞いてお昼ご飯を食べて降園します。室内ではいつも先生たちがおやつや昼食づくり、お掃除、おもちや作りや手入れ、行事の準備などをしていきます。外でも庭の手入れなどをしていて常に立ち働いています。曜日ごとの違いはあってもずっと同じ流れで行ってきまします。そうです、私たちの園はおうちを少し大きくした形を作って実践してきました。繰り返される家庭のような日々の暮らしは大人にとっては退屈ですが、幼児にとっては大きな喜びと安心感をもたらします。時代に合わせた教育をおやつや昼食づくり、お掃除、おもちや作りや手入れ、行事の準備などをしていきます。外でも庭の手入れなどをしていて常に立ち働いています。曜日ごとの違いはあってもずっと同じ流れで行ってきまします。時代に要求に合わせる必要はないのです。

（宇部市、NPO法人メルヘンこども園理事長）



田上 恵子

私たち大人はこどもを自分の価値観で判断したり、願いを投影したりしがちです。こどもは元気で明るく賢い方がいいとか無意識に考え、自分のかなわなかった夢をこどもに押し付けるなどが多い例です。けれども、こどもは親とは全く違う別の個性をもって私たちのところへやってきます。もしその個性に着目せず

### 個性

見たり好みを押し付けたりしたとしたら、一番の被害者はこども自身ということになります。そのように生きたくないかもしれないのに、それを無視してしまっからで、こどもの成長は普遍的な法則があります。性格も興味の対象も体の動かし方も一人一人全く違います。こどもの成長は普遍的な法則があります。性格も興味の対象も体の動かし方も一人一人全く違います。こどもの様子を見てみるとそこに個性があふれ出ています。すぐに大人はそれを変えようとか伸ばそうとか思いがちですが、

そうではなく、まずはよく観察して見守ることだと思えます。私たちは子育ての結論を急ぎすぎる傾向にあります。こどもがどのような方向に向かって伸びようとしているのか温かなまなざしで見守ることができたなら、こどもは深い呼吸と共に安心して成長していきます。見守るといえるのは大人がこどもの言いなりになる、放任する、口うるさく言う、こどではなく、いつか花が咲くようにじっくり見て必要環境をつくることなのです。

（宇部市、NPO法人メルヘンこども園理事長）



田上 恵子

子どもの誕生に出会うと、神聖な雰囲気を感じるの私だけではないと思います。誕生の喜びだけではなく、赤ちゃんが持つ雰囲気は神々しく独特です。子どもの様子だけだと、行動は不可解だし、よく泣くし、なかなか神聖な存在だとは思えないかもしれません。しかし、思いがけずこの仕事に就いて、子どもたちと過ごすようになって、私はこのことを強く実感するようになりまし

た。私が関わってきた多くの幼い子どもたちはどの子も人間の神聖な故郷からやってきて、私を教

### 人間になるために

育し続けました。ずっと私の先生でしたし、今も私の師です。幼児は見えない目にはできないことや分かっていないことだらけですが、精神性は私よりはるかに高く、私に自己教育を求め続けました。もし子どもたちに出会わなかったら、私はもっと未熟な人間のままだったと思

います。人間は大人に成長するまでに長い期間かかりますが、大人になっても、ずっと成長したい、いつまでも自分を高めていきたい、と思う存在だと思います。シュタイナー氏の思想はその学びを助けてくれたように思います。

今回は児童期や思春期の教育についてご紹介できませんでしたが、これを機会に関心を持ってくださるとうれしく思います。2カ月間、拙い文にお付き合いくださり、ありがとうございました。 (宇部市、NPO法人メルヘンこども園理事長)